

みやぎ県議会だより

第389回宮城県議会（9月定例会）は9月5日から10月4日まで30日間の日程で開かれた。総額44億6900万円を増額する令和5年度一般会計補正予算など32議案、常任委員会などへのオンライン出席を可能にする県議会委員会条例改正などの議案3件と意見書2件を可決。議案1件を採択した。代表・一般質問では、仙台医療圏の病院再編問題や教育関連、長引く物価高騰から県民の生活を守るための支援策などについて、活発な議論が交わされた。

4病院再編 民間公募に懸念相次ぐ

知事「精神医療体制を維持」

県が主導する仙台医療圏の4病院再編を巡って県民への丁寧な説明を求める声が多く、混乱が続いていると指摘する。知事は県立精神医療センター（名取市）に移転に伴い、これまで薬いきた「精神障害」にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）が構築されることへの懸念の声を挙げて、説明しながら、「公募検討の構築により高齢化による

生産者・事業者の支援要望

長引く物価高騰などを踏まえ、県民の生活を守るための訴えも多くあった。「生産資材や飼料高騰対策は、継続実施の要望が大きい」との議員の声に、知事は特に影響の大きい畜産の配合飼料と施設園芸の燃料について県から国に予算措置を求めていることを説明した上で、「全国的な課題でもあることから、今後、各都道府県の意見も伺いながら必要な財源措置の継続を強く要望していく」と答えた。

資材高騰対策、賃上げ

また、「生産者の負担が急増する場合は、十分な支援策を機動的に講じる必要がある」と議員が求めると、知事は「資材価格の動向を注視し、個々の農業者の経営状況なども把握しながら、国に対して財源措置を要望するとともに、農業者の負担軽減を図られるよう検討していく」と述べた。



9月定例会の本会議

教員未配置解消求める

県教委 学生採用へ魅力発信

子どもたちに快適な学びの場を提供しようと、教育分野の質も目立った。教員の欠員を補う人材の不足について「教員未配置解消のため、教員の採用、任期付き採用などを実施してはどうか」との議員

議決した議案等

- #### 可決した発議 <3件>
- 宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進条例の一部を改正する条例
 - 宮城県犯罪被害者等支援条例
 - 宮城県議会委員会条例の一部を改正する条例

- #### 可決した意見書 <2件>
- 私学助成の充実強化に関する意見書
 - ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価を求める意見書

- #### 可決・認定・同意した知事提出議案 <32件>
- 令和5年度宮城県一般会計補正予算
 - 令和5年度宮城県中小企業高度化資金特別会計補正予算
 - 令和5年度宮城県下水道事業会計補正予算
 - 特定都市河川浸水被害対策法施行条例
 - 手数料条例の一部を改正する条例
 - 市町の境界変更について（仙台市と利府町）
 - 令和4年度宮城県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について
 - 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 他

- #### 採択した請願 <1件>
- 政府及び国会に対し私学助成に関する意見書の提出を求めることについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

県産品の販路拡大 各国県人会と連携

県、来春ホノルルフェス参加

国際交流・海外戦略については、県産品の販路拡大や人材確保など幅広い観点で意見が交わられた。「県産品の販路拡大に、世界各地の宮城県人会との連携を生かしてはどうか」との質問に、知事は「販路拡大について、今後とも丁寧に説明し県民理解の醸成に尽くしたい」と答えた。また「救急搬送に与える影響に

質問者と主な質問項目

- 代表質問（3人）
 - ▽外崎浩子（自民） 宮城県政における課題について▽石田一也（自民の声） 4病院の統合と関係者の懸念について、物価高騰への対応について、他▽三浦一敏（共産） 村井県政18年の検証と課題、海洋放出と女川原発再稼働の関連、他
 - ▽一般質問（16人）
 - ▽吉川寛康（21世紀） 海外との連携強化について、コロナ禍後の観光戦略について、他▽渡辺勝彦（自民） 全国知事会会長就任の期待と懸念、4
- 代表質問（3人）
 - ▽外崎浩子（自民） 宮城県政における課題について▽石田一也（自民の声） 4病院の統合と関係者の懸念について、物価高騰への対応について、他▽三浦一敏（共産） 村井県政18年の検証と課題、海洋放出と女川原発再稼働の関連、他
 - ▽一般質問（16人）
 - ▽吉川寛康（21世紀） 海外との連携強化について、コロナ禍後の観光戦略について、他▽渡辺勝彦（自民） 全国知事会会長就任の期待と懸念、4

処理水海洋放出 漁業経営安定へ 資金貸付強化を

8月に始まった東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出に際しても、多くの議員が質問した。議員が「国と東京電力が福島県漁業と交わした関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」との約束がほかにされた。宮城県として国に抗議すべきであり、知事は「海放出への理解が深まってきた一方、十分に納得されていない方もいると認識している。引き続き国と東京電力に必要な申し入れを行う」と答えた。

議長記者会見

9月定例会閉会日の10月4日、菊地恵一議長が記者会見を行った。9月定例会を振り返って菊地議長は、「県立病院等4病院の再編に関することや教育・子育てに関して多くの議員が取り上げた。医療や福祉、地域交通など喫緊の課題についても幅広く活発な議論が行われた」と総括。さらに「物価高騰対策や水害への対応など特に緊急を要する施策などについて編成した補正予算を可決した」と述べた。

県議会からのお知らせ

- ラウンジコンサートのご案内
◇次回コンサートの開催予定
・開催日時/定例会開会日 11月28日（火）午後0時15分～45分
・場所/県議会庁舎1階ラウンジ
・出演/Trio Armonia
・ジャンル/クラシック音楽演奏
- 傍聴のご案内
本会議の傍聴について、傍聴を希望される方は、本会議開催日当日、議会庁舎1階にある傍聴受付へお越しください。
各委員会について、傍聴を希望される方は、委員会開会日当日、議会庁舎1階ロビーへお越しください。
詳細については、022(211)3571（総務課）までお問い合わせ下さい。

予算特別委員会

9月21日に総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、物価高騰対策や水害への対応、津波や高潮等への対策に要する経費などを計上した令和5年度補正予算を可決した。

決算特別委員会

9月27日に、総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、令和4年度宮城県一般会計決算及び各特別会計決算、公営企業会計決算について認定した。

質疑者

- 安藤俊威、横山隆光、島山和純、高橋宗也、佐藤剛太、伊藤吉浩（自民）、ゆさみゆき（県民の声）、金田もとる（共産）、横山のぼる（公明）、岸田清実（社フォ）、菅間進（無所属の会）、吉川寛康（21世紀）

工事請負契約の締結について

- 建設企業委員会
特定都市河川浸水被害対策法施行条例、公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例、工事請負契約の締結について（主要地方道気仙沼唐桑線本町道路改築工事（その2））、工事請負契約の締結について（川内沢ダム放流設備等工事）、工事請負変更契約の締結について（女川町道女川出島線出島大橋（仮称）新設工事）など6議案
- 文教警察委員会
県立学校条例の一部を改正する条例、財産の取得について（宮城県県立高等学校新第二グラウンド用地）、工事請負契約の締結について（宮城県美術館改修工事）、工事請負変更契約の締結について（宮城県宮城第一高等学校校舎等改築工事（その1））、工事請負変更契約の締結について（宮城県宮城第一高等学校校舎等改築工事（その2））、工事請負変更契約の締結について（仙台南部地区特別支援学校（仮称）校舎等改築工事）など8議案

みやぎ県議会だより 検索

●ウェブ版みやぎ県議会だより
県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れております。

宮城県議会 検索

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会中継 検索

●議会中継のご案内
インターネットで議会中継や録画映像をご覧いただけます。



菊地恵一議長